

ことしも地獄の釜から 鬼がお目見え

第51回登別地獄まつり

8月30日(土)・31日(日)、登別温泉で『第51回登別地獄まつり』(市登別観光協会主催)を開催しました。会場には2日間で約7万人の市民や観光客が訪れ、登別温泉街のメインストリート『極楽通り』の出店や縁日、太鼓の演奏などを楽しむ姿が見られました。

『エンマ大王からくり山車』や『鬼みこし暴れねりこみ』では、『極楽通り』を埋め尽くした観客が、その迫力に圧倒され、大きな歓声を上げていました。

また、温泉の湯気や鬼の角などを表す覚えやすい振り付けで、曲と太鼓に合わせて踊る『鬼踊り大群舞』が始まると、沿道の観客が飛び入りで参加し、一つの輪になって楽しく踊るなど、大きな盛り上がりを見せました。



▲勇壮な女みこしへの湯かけ



▲多くの観客が参加した鬼踊り大群舞

8/
30-31

自転車92キロを駆け抜ける 北海道いぶりロングライド2014

オロフレ峠チャレンジin登別

9月7日(日)、西胆振で初の開催となるサイクリングイベント『北海道いぶりロングライド2014』(同実行委員会主催)が開催されました。

同イベントは、サイクリングを通し、胆振の美しい景色や食など、地域の魅力を発信しようと企画されたものです。

参加者74人は、登別伊達時代村を午前6時にスタート。難所のオロフレ峠、洞爺湖を経由し、ゴール地点の道の駅『だて歴史の杜』を目指し、懸命にペダルをこいでいました。

9/
7



▲レスキュー体験をする子ども

命や火災予防の大切さを学ぶ

2014消防・救急フェスティバル

9月13日(土)、イオン登別店で『2014消防・救急フェスティバル』(市主催)を開催しました。

このフェスティバルは、市民が消防と身近に触れ合う場を設けることで、命や火災予防の大切さなどを知ってもらおうと、毎年この時期に行っています。多くの家族連れでにぎわいを見せた会場では、40センチの高さまで伸びたはしご車に、子どもたちの目はくぎづけとなり、来場者からは歓声が上がっていました。

また、消火体験では、子どもたちが緊張しながら、一生懸命、消火作業を体験していました。

9/
13



▲笑顔でスタートを切った参加者たち



▲大きなサケを引き当てた参加者

秋の海の恵みを 楽しむ

第37回登別漁港まつり

9月13日(出)・14日(日)、登別漁港新港区で『第37回登別漁港まつり』(同実行委員会主催)が開催されました。

越後おどりなどのステージイベントや海産物青空市、ビンゴ大会、花火大会など盛りだくさんのイベントに2万5千人以上の方が詰め掛け、『朝揚げ鮭抽選即売会』の開始前には、400人以上の長い列ができました。

即売会が始まると、水槽から大きなサケが揚がり、サケと酒のセットなど『大当たり』を引き当てた参加者は驚きの表情を浮かべ、喜び合っていました。

9/
13-14

スマートフォンで
動画を再生できます

1. GooglePlay・App Storeから無料アプリ「junaio」をダウンロード
2. 必ずこのQRコードをスキャン



3. この左の写真にスマートフォンをかざす



▲水の汚れを測る実験を体験する子ども

みんなで学ぶ 下水道の不思議

2014みんなで見てみよう！若山浄化センター

9月15日(月)、若山浄化センターで『2014みんなで見てみよう！若山浄化センター』(市主催)を開催しました。

106人が来場し、『登夢くん』との写真撮影や的に向けてボールを投げる遊びなどを楽しみ、下水道施設の見学や水の浄化実験を通して、下水の処理について理解を深めていました。

施設見学に参加した方は、「施設の中がとてもきれいで驚きました。普段は入ることのない施設を見せてもらい、とても楽しかったです」と話してくれました。

9/
15

登別のまちづくり 理解を深める

三市合同施設見学会

9月17日(水)、市内で、三市合同施設見学会(室蘭市・登別市・伊達市主催)を開催し、40人が参加しました。

同見学会は、隣接するまちをより知っていたことや各市の市民同士の交流を図ることを目的に行っており、今年は登別市の郷土資料館や登別漁港など4施設の見学のほか、鬼なびステーション登別で昼食や買い物を楽しみました。室蘭市から参加した荒澤セツさんは「初めて訪れたキウシト湿原では、貴重な植物を見ることができ、夏の時期にも来てみたいと思いました」と、話してくれました。

9/
17



▲郷土資料館の展示品を見る参加者



▲キウシト湿原の説明を聞く参加者